



「電車の中で」

井上裕太くん

ぼくは、学童で、東京に行きました。駅まで車で行きました。電車に乗ると席が空いています。ぼくは、立っていました。すると、知らないおじい

さんが、「すわっていいよ。」と言ってくれました。

ぼくは、心の中で『だいじょうぶですよ。』と思いました。でも、言えなくて、そこにすわりました。ぼくは、すわりながら、『何で言えなかつたんだろう。自分の心にあまい気持ちがあつたのかな。』と思いながら反せいでしていました。

次の駅で、車いすに乗ったおばあさんが電車に乗ってきました。ぼくは、『あまい気持ちをふつとばせ。』と思いました。ぼくは、「すわっていいですよ。」と言いました。そして、席から立ちました。そうしたら、おばあさんが、「ありがとう。親切に。」と言ってくれました。ぼくは、とてもいい気持ちになりました。

東京に着きました。ぼくは、『いいことをしてよかったなあ。』と思いました。これからもおじいさん、おばあさん、車いすに乗っている人、その他の人もふくめて、親切にしていきたいと思います。親切にすれば、ぜったいうれしい言葉が返ってくると思っています。

(評) 素敵な体験をしましたね。心の中での迷い、勇氣ある行動、素直に書き表せましたね。

霜田祐希さん



小五 霜田祐希
(評) 字形を整えてバランスよくかけています。何事にもいいねいに取り組む霜田さんらしさが感じられます。

新井琴美さん



小六 新井琴美
(評) すっきりした線で形を整えて書きました。

「きれいな歯」

沢野来美さん

(評) ほんきではみがきをしているようですが、とてもよくわかります。



茂木志帆さん

浦山の 岩間彩る 紅つつじ

(評) 荒々しい岩肌に力強く、しかも清楚に咲いた紅色のつつじ。存在感のあるその姿に作者の目はふと留まったのだろう。視点が山から岩を一点のつつじへと焦点化していくのは、カメラのレンズで被写体をとらえているようである。